



令和8年度北星中キーワード
「思いやり・高め合い・挑戦する」

旭川市住吉5条1丁目2番1号
Tel:0166-51-5491 Fax:0166-51-5492
<http://www.asahikawa-hkd.ed.jp/hokusei-jhs/>

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果より

全国学力・学習状況調査は、①「児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の成果と課題を検証して改善を図る」②「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる」ことを目的とし、全国の小学6年生、中学3年生を対象に、毎年実施されております。本校では、お子さまの学習及び生活状況の把握・分析を通して、今後の授業改善や生活指導等に生かしていくとともに、分析結果をご家庭や地域へ発信することにより、お子さまの様々な資質・能力を、家庭・地域のご協力を得ながら育みたいと考えております。

◎国 語

漢字や文法などの基礎的な力は着実に身に付いています。一方で、話合いや文章から必要なことを整理し、自分の考えを根拠とともにまとめたり書いたりする力は不足気味ですので、授業などで力が身に付くよう指導していきます。

- ・「知識・技能」はほぼ全国並みで、漢字や文法などの基礎は概ね定着している。
- ・「話すこと」「聞くこと」では、話合いを踏まえて自分の考えを整理し、まとめる力に課題がある。
- ・「書くこと」では、助言や交流を受けて振り返り、改善点を書く力が十分ではない。
- ・「読むこと」では、必要な情報に着目し、根拠をもって解釈・説明する力に課題がある。

◎数 学

数学では、各領域で学んだ基礎的な内容を活用しながら、自分の考えや解き方を順序立てて説明する力に、今後の伸びしろが見られました。

- ・数学は、数と式・図形・関数・データの活用の各領域で課題が見られる。
- ・特に、学んだ知識を活用して考え、根拠をもとに説明する力に弱さがある。
- ・図形の証明や関数の読み取り、データの比較など、筋道立てて表現する力を伸ばす必要がある。

◎英 語

英語では、短いやり取りや与えられた情報を使う活動には良さが見られる一方で、話の概要や要点をつかむこと、必要な情報を正確に読み取ること、自分の考えや理由を整理して書いたり話したりする力等に課題が見られました。

- ・「聞くこと」では、細部の聞き取りより、「話の流れ・概要・要点把握」が課題
- ・「読むこと」では、「目的に応じて必要情報を正確に読む力」にばらつきがある
- ・「書くこと」では、与えられた情報を使う英文は書けるが、「自分の考え・体験を整理してまとまりある文章にする力」に課題が見られる。
- ・「話すこと」では、短い応答は良好ではある。ただ発表力では、身近な話題は話せるが、理由を伴ってまとまりよく話す力に差があり、自分の考えや理由を述べる課題で弱い傾向にある。

◎生徒質問紙より

生活面では、朝食や就寝時刻の安定、読書習慣などに課題が見られました。一方で、自己肯定感や将来への意識は高く、学習面でも自分で学び方を工夫したり、課題解決や話合いに前向きに取り組んだりする姿勢が見られます。

- ・朝食や就寝時刻の安定、読書習慣など、生活リズムにやや課題が見られました。
- ・平日の家庭学習時間は比較的短く、長時間学習する児童生徒は少ない傾向が見られました。
- ・自分のよさを感じている子どもが多く、将来の夢や目標をもっている割合も全国を上回りました。
- ・ICT を活用して学ぶ力も比較的育っていることがうかがえました。

◎学校としての改善策

本校では、本結果を受け、今後次のような取組を進めます。

- ・国語：要約・根拠・自分の考えを書く活動の充実を図ります。
- ・数学：途中式を書くこと、理由を言葉で説明する活動の定着を図ります。
- ・英語：短時間英作文や、理由を添えて伝える練習を継続します。
- ・生活面：家庭学習の習慣化、基本的生活習慣の見直しを図れるよう取組を行います。

保護者の皆様へ

本校では学力調査と生活状況調査の結果を踏まえ、まず生活習慣の改善を大切にしていきます。調査から、朝食、就寝時刻の安定、家庭学習、読書習慣に課題が見られました。これらは学習への集中力や意欲に大きく関わります。

学校では、早寝・早起き・朝食の定着、毎日の短時間学習、読書活動の充実、安心して過ごせる学級づくりを進めます。ご家庭でも、生活リズムを整える声かけ、スマートフォン等の使用時間の見直し、学習や読書の時間の確保にご協力をお願いいたします。

学校と家庭が連携し、子どもたちが安心して意欲的に学べる環境を整えてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。